

# 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 鹿児島 】

学校名【南さつま市立万世小学校】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・③・Ⅳ・⑤（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	5年生33名, 6年生34名, 教職員5名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (総合的な学習の時間)</p> <p>② 行事名 ( )</p> <p>③ その他 ( )</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ( )</p> <p>② その他 ( )</p>
4 目標 (ねらい)	○ パラリンピアンによる講演や競技体験を通して、スポーツに対する興味・関心の向上を図るとともに、障害者への理解を深め、オリンピック・パラリンピック競技に関する豊かな知識を育む。
5 取組内容	<p>(1) 12月第1週～第2週</p> <p>○ 事前学習 オリンピック、パラリンピックの意義や歴史について、特にパラリンピックの種目やパラリンピアンの方の活動の様子について知る。(総合的な学習の時間)</p> <p>(2) 12月18日(金)</p> <p>○ パラリンピアンによる講演と実技体験 ゴールボールの安達阿記子選手による講演と実技体験</p>





安達選手の講演の後、ゴールボールのプレイスタイルを実演していただいた。ブラインド状態でのコミュニケーションの大切さや、チームワークの大切さ、上手くプレーできた楽しさを体験することができた。

(3) 事後学習

講演会終了後の感想記入。アンケート実施。

<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オリンピック・パラリンピックについて調べたことで、大会への興味を深めることができた。特にパラリンピックの競技について体験を通して理解を深めることができた。</li> <li>○ 安達選手の体験を聞いて、障害にもいろいろな種類があるとともに、その中で自分の目標に向かって日々努力していることを知り、夢に向かって努力することの大切さを学ぶことができた。</li> <li>○ ゴールボールの体験を通して、チームメイトとのコミュニケーションの大切さや、障害の有無に関係なくスポーツができる楽しさを感じることもできた。</li> </ul>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オリンピック・パラリンピック教育推進事業を進めるに当たり、教育委員会と連携し、講師を紹介してもらったり、ゴールボールの道具を準備してもらったりして実践した。</li> <li>○ 実際に児童が体験できる場面や選手の動きを見る場面を取り入れ、ハンディキャップのある人の大変さを感じるとともに、障害がありながらもアスリートとして活躍する選手の凄さを実感できるよう、授業の展開を工夫した。</li> <li>○ 来校していただいたパラアスリートに、万世を覚えてもらえるよう、感謝の言葉と共に地元の名産品を手渡した。</li> </ul>
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本年度は、内容の検討や感染症対策などで実施時期の調整に時間を要してしまい開催時期が遅くなったので、来年度以降、開催できるのであれば早い時期に実施できるようにする。</li> <li>○ 教職員研修でもパラスポーツ体験を取り入れて、全職員でオリンピック・パラリンピックへの興味関心を高め、事前学習、事後学習についても計画的に進められるようにする。</li> <li>○ 今回学んだゴールボールを、継続して体験していけるように環境整備を進める。</li> </ul>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オリンピアン・パラリンピアン招聘、講演会の実施。</li> <li>○ 各教科でオリンピック・パラリンピックを取り入れた授業の実施。</li> </ul>